

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)  
『加齢依存的に脳において蓄積、凝集するタンパク質の同定と  
その生理的意義の解明』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009年4月より2024年4月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNPブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方の中から、死後の神経病理学的解析によりアルツハイマー病と診断された方、および神経変性疾患には該当せず、認知症との診断を受けていない方

【研究期間】 研究開始日より2028年3月31日まで

【研究代表者】 東京大学薬学系研究科 平山尚志郎

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部 高尾昌樹

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

私たちは、マウスの脳で、ペリニューロナルネットと呼ばれる構造を形成するタンパク質が、加齢に伴い蓄積、凝集することを同定しました。本研究では、国立精神・神経医療研究センターから東京大学に検体を提供し、ヒトの脳においてもペリニューロナルネット構成タンパク質が加齢依存的に蓄積し凝集しているのか、またアルツハイマー病の患者脳において凝集や機能異常が観察されるのか、認知症との関連が見られるかなどについて調べます。これにより、神経変性疾患で見られる沈着物質の病理学的意義を明らかにしたいと考えています。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：50-60代あるいは80-90代の認知症のない方、60代以上のアルツハイマー病患者、各5例の脳組織パラフィン切片、凍結脳組織

情報等：付随する情報（性別、年齢、死後時間、疾患名、診断情報、病理解析結果）

提供する試料・情報の取得の方法

試料・情報は、ご遺族の同意を得てNCNPブレインバンクに寄託、保管されている。

【利用又は提供を開始する予定日】

研究開始日を予定しています。

【共同研究機関】

東京大学薬学系研究科 研究責任者 平山尚志郎（研究代表者）  
国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部 高尾昌樹

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

該当なし

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
所属 病院 臨床検査部 氏名 高尾昌樹  
電話番号 042-341-2711（代表）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局  
e-mail：ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）